

連携通信 おおつか



東京都立大塚病院 〒170-8476 東京都豊島区南大塚2-8-1 TEL03-3941-3211 (代表)
大塚病院ホームページ <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/ohtsuka/>

2019 1月 92号

新年のご挨拶

院長 富山 順治



明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

地域医師会の先生方におかれましては、日頃から大塚病院の医療連携について、多大なるご支援、ご協力を頂き、誠に有難うございます。

おかげさまで、当院の直近の紹介率は86.9%、返送・逆紹介率も37.9%と高い値を維持しており、これもひとえに地域医師会の先生方からのご紹介と、地域の先生方が当院からの返送・逆紹介を快く受けていただいているおかげと感謝しております。

大塚病院では「2人主治医制」を基本としており、普段はかかりつけ医で診てもらい、専門的医療や救急時には、大塚病院を紹介頂き、専門的治療や救急診療が終わり次第、かかりつけ医にお戻りするシステムを推進しています。

昨年10月からは、「在宅復帰支援システム・大塚医療ネットワーク（通称「大塚ネット」）」の試験運用を豊島区医師会の協力により開始いたしました。この大塚ネットは、大塚病院と連携医、ケアマネ、訪問看護ステーション等の間で、ICTを活用した患者情報の共有を軸に、強力な地域のネットワークを構築し、在宅患者さんが急変や入院が必要となった場合、大塚病院で優先的に受入れ、入院加療後、スムーズに在宅医療にお戻するという在宅復帰支援システムです。これにより、地域包括ケアシステムに貢献でき、今後の発展を医師会の先生方と一緒に進めて行きたいと思っております。

平成22年に地域の産婦人科の先生方と協働で運用開始しました「産婦人科地域医療連携システム（大

塚モデル）」も順調に協力医療機関も増え、今年4月からは産婦人科、新生児科ともに医師の増員を予定していますので、益々のご活用をよろしくお願い致します。

また、今まで呼吸器内科医が不在で、地域医師会の先生方にはご迷惑とご不便をおかけしていましたが、今年4月から呼吸器内科常勤医を複数名採用できる見込みであり、地域医師会の先生方のご要望にお応えできるものと期待しています。

緊急診療依頼直通電話（ゴールド電話：03-3941-7890 月～金の9時～20時）
も、緊急で診てもらいたい患者さんがいる場合、直接当院の担当医に電話が繋がるシステムで、連携医の先生方にご好評をいただいております、益々のご利用をよろしくお願い致します。

以上、お願いばかり書きましたが、本年が医師会の先生方にとりまして良い年になりますよう、また、医療連携が益々深まることを祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



前列左より、郷看護部長、澁谷副院長、富山院長、辻井副院長
後列左より、丸山医事課長、渡邊庶務課長、筒井事務局長

「オーラルフレイル」って聞いたことありますか？

口腔科部長 田中 潤一



一般にフレイルとは虚弱を意味する言葉で、身体的・社会的・精神心理的な虚弱に分類されますが、実はこれらが密接につながっています。高齢になって骨格筋が衰える状態をサルコペニアと言いますが、そうなると買い物に出るのも面倒になるなど社会での活動性が低下し、やがて人と接する機会も減少して孤立してしまいます。その結果、認知機能や判断力が低下することで余計に外出が面倒になり、食生活のバランスも低下してさらに体力や筋力が低下するという悪循環に陥り、やがて要介護の状態になります。以前は、この悪循環を老化現象と見過ごされていましたが、しっかり食べて運動することでサルコペニアを予防し、登山などにも行く元気な後期高齢者の方がいることも事実です。

一方、口腔周囲の咀嚼筋にサルコペニアが生じると口腔の機能虚弱が生じ、オーラルフレイルと呼ばれる状態になります。この状態も悪循環を呈しやすく、咀嚼筋の機能が低下すると柔らかいものばかりを食すようになり、当然のように噛む機能も徐々に低下してきます。そうなると余計に噛むことが困難になり、さらに柔らかいものを食すようになってサルコペニアが進行し社会活動性が低下するばかりでなく、やがて嚥下機能まで低下して容易に誤嚥性肺炎を惹起するようになります。そして厄介なことに、このオーラルフレイルはサルコペニアによる咀嚼筋の機能低下だけで発症するわけではなく、齶蝕や歯周炎で歯が喪失して咀嚼効率が悪化した場合にも発症の引き金となります。例えば、一番咀嚼効率の良いとされる第一大臼歯を1本喪失すると、咀嚼効率は40～50%ほど低下するとも言われています。そこで、フレイルの入り口としてのオーラルフレイルに陥らないためにも、またフレイルから脱却するためにも、しっかり食べる環境を維持ないし作る必要があります。すなわち、全身の健康はお口からという考え方のもと口腔の機能管理（口腔ケア）が求められ、最近の歯科医療でも

徐々に専門的口腔ケアを行う施設が増えてきました。

お口に関心をもって毎日のセルフケアを行うことは当然ですが、しばらく歯科を受診していない方は、この機会にかかりつけ歯科を持たれて専門的な口腔ケアを受けられては如何でしょうか？入院中の患者様に対しては当科で口腔ケアを行い、退院に際して近隣歯科医院に紹介しています。



助産師外来のご紹介

MFICU看護師長 奥山 薫



近年の周産期医療においては、社会的ハイリスクの妊産婦や高齢初産など、育児不安を抱える母親が増加しています。当院は総合周産期母子医療センターとして、多職種が協働し専門的な支援を要する妊産婦に対して、助産師が妊娠中からサポートすることにより安全で快適な分娩や育児ができることを目指しています。

平成30年3月から産婦人科外来の一室を利用し助産師外来を開始しました。助産師外来は、産婦人科医師がLow riskや個別に助産師の支援が必要と判断した妊婦を対象とし、妊婦健診・妊娠中の生活指導、育児指導、心理的サポート等を行っています。また、助産師が専門性を発揮することにより、ハイリスク妊娠においても生活指導や育児準備について対応しています。

助産師外来は、日本看護協会の認証による「助産師の専門性を有し、自律して助産ケアが実践できる能力」を有するアドバンス助産師31名が担当しています。助産師外来で担当した妊婦さんからは、「外来で何回か助産師さんと話しができて、出産でも会えたので、とても安心しました」等、満足感を表す意見を頂いています。

これからも妊娠中からサポートした妊婦が分娩し、産後入院中の育児指導や退院後のママほっとクラス、母乳育児相談外来など、地域で安心して育児できるように継続的に支援をしていきたいと考えています。



脳神経外科・生活習慣病センター・麻酔科外来が 地下1階に移転しました

改修工事でリニューアルしました。

* 初診の受付窓口・再来受付機は今まで通り1階です。



3月

医療連携研修会のご案内

医療連携
医科研修会

第280回 医療連携医科研修会 平成31年3月7日(木) 午後7時30分～午後9時00分 5階大講堂にて

「甲状腺腫瘍について」

外科医長 輿石 晴也

・都立大塚病院医療連携医科研修会は、日本医師会の生涯教育の対象となりますので、参加いただいた先生方には「日医生涯教育講座参加証」をお渡ししています。

※上記研修会のテーマ及び講師等は変更になる場合があります。当院からの研修案内でご確認ください。よろしくお願いいたします。

医師の
異動

お世話に
なりました

平成30年9月30日付退職

外科 茂原 富美 脳神経外科 福原 宏和

よろしく
お願いします

平成30年10月1日付採用

内科 岨 康太 外科 佐々木 恵

平成30年11月1日付採用

脳神経外科 須田 智裕 産婦人科 竹内 沢子

糖尿病基礎講習・糖尿病教室のご案内 (2019年1月～3月)

糖尿病の基礎を学んでいただく「糖尿病基礎講習」と、糖尿病とつき合うための生活に役立つ「糖尿病教室」の2部構成で行っています。①から⑥の6回シリーズを全て受講すると修了証をお渡しています。ぜひ、ご出席ください。

内科医長 中村 佳子

〈糖尿病基礎講習〉

※水曜日

1/9 1/23 2/6 2/20 3/6 3/27

5階小講堂にて ※要予約

午後2時～ ①糖尿病と付き合うための第一歩…医師による

午後3時～ ②今日からできる食事療法(※指導料あり)

……………管理栄養士による

※糖尿病集団栄養食事指導が必要な患者さまは、先に糖尿病初診の診療予約をお取りください。

〈糖尿病教室〉

※木・金曜日 午後3時から 5階小講堂にて

第1回 (1/10 1/24 2/7 2/21 3/7 3/28)

③血糖はなぜ上がる 体のしくみと関連検査 ④糖尿病のお薬を知ろう
……………臨床検査技師・薬剤師による

第2回 (1/11 1/25 2/8 2/22 3/8 3/29)

⑤毎日ここを気をつけよう ⑥運動療法のススメ さあ 体を動かそう
……………看護師・理学療法士による

※糖尿病基礎講習と糖尿病教室を併せて受講することをお勧めします



☆当院は緊急の場合を除き原則予約制です。

☆緊急・休日・夜間の場合

☆医療連携についてのお問い合わせ

☆緊急診療依頼直通電話

【予約専用電話】 03(3941)5489

受付時間は〈月～金〉9:00～17:00 〈土〉9:00～12:30

【代表電話】 03(3941)3211

医事課 医療連携担当

03(3941)7468(直通)

03(3941)3211(内線2138)

03(3941)7890

受付時間は〈月～金〉9:00～20:00

上部・下部消化管内視鏡検査に関するご連絡も上記医療連携担当へお願いいたします。

平成30年度登録第69号



石油系溶剤を含まない
インキを使用しています。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。